



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 大成株式会社

上場取引所 名

コード番号 4649 URL <http://www.taisei-bm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 中島 武久

TEL 052-242-3223

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	17,721	7.0	253	27.0	292	37.5	207	30.0
29年3月期第3四半期	16,564	9.6	347	223.9	468	210.2	297	145.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 420百万円 (7.3%) 29年3月期第3四半期 453百万円 (497.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	41.29	
29年3月期第3四半期	59.00	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	13,241	8,501	63.9
29年3月期	12,595	8,151	64.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,455百万円 29年3月期 8,151百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		10.00	20.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,530	7.3	350	25.0	415	9.9	222	6.3	44.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	5,369,671 株	29年3月期	5,369,671 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	334,062 株	29年3月期	334,062 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	5,035,609 株	29年3月期3Q	5,035,609 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)を取り巻く経営環境は、不動産業界が日銀の低金利政策と緩やかな景気回復基調により、私募ファンドや不動産デベロッパーの活発な投資活動が継続していることに加え、インバウンド需要の復調により新築ホテルの建設も進み、安定した受注環境で推移しました。しかしながら、人手不足の問題はより深刻化しており、賃金単価の上昇や募集費等の増加による受託物件の採算性低下への対応が、喫緊の経営課題と認識しております。このような経営環境の中、ビルメンテナンス事業の売上につきましては、新築のホテルを中心に新規受託が堅調に伸びました。また第1四半期連結会計期間より連結子会社化したベトナムのCare Vietnam Joint Stock Company(以下CV社)は売上の増加に寄与しました。一方で、賃金単価の上昇等により採算性が低下した物件の契約の見直しを進めましたが、一部には解約も発生しました。リニューアル工事は、大型工事の受注が伸び悩み、若干弱含みで推移しております。結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は177億21百万円(前年同四半期比7.0%増)となりました。

利益面につきましては、ビルメンテナンス事業は、前連結会計年度に獲得した受託物件の収益改善が順調に進み、新規受託についても立ち上げに関わるイニシャルコスト(募集費、教育費、引継ぎ費用等)を吸収し、利益の増加に寄与しました。またCV社の収益も貢献度が高く推移しました。半面、リニューアル工事業の受注減少に伴い利益が減少したことに加え、事業領域の拡大や新たなサービスメニューの拡充にむけ、人材や設備への投資を行ったことにより、販売費及び一般管理費が増加しました。結果、営業利益2億53百万円(同27.0%減)、経常利益2億92百万円(同37.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億7百万円(同30.0%減)となりました。

## ビルメンテナンス事業

## (クリーン業務)

クリーン業務につきましては、前連結会計年度に獲得した日立ICTビジネスサービス様より業務移管を受けた34物件やGINZA SIXなどの大型物件の収益改善や低採算物件の契約見直し等に加え、CV社連結により、売上は堅調に推移しました。

一方、もっとも人員を多く抱える同業務は、人手不足による原価上昇の影響は大きく、収益圧迫要因となりました。結果、売上高99億36百万円(前年同四半期比14.3%増)、営業利益10億94百万円(同0.5%減)となりました。

## (設備管理業務)

設備管理業務につきましては、法政大学多摩校地やパワードーム半田などの新規受託や随時売上の増加により、売上高34億85百万円(同1.7%増)、営業利益1億71百万円(同19.7%増)となりました。

## (セキュリティ業務)

セキュリティ業務につきましては、センチュリー豊田ビルの駐車場管理業務、日立グループの受付業務の新規受託に加え、随時売上の増加により、売上高22億36百万円(同4.5%増)、営業利益1億62百万円(同19.8%増)となりました。

従いまして、ビルメンテナンス部門の売上高は156億58百万円(同9.8%増)となり、営業利益は14億28百万円(同3.6%増)となりました。

## リニューアル工事業

リニューアル工事業につきましては、大型工事の受注が伸び悩み、売上高は13億33百万円(同22.7%減)、営業利益は54百万円(同57.2%減)となりました。

## 不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業につきましては、前連結会計年度に獲得した指定管理者物件が期初から寄与したことに加え、管理物件の入退去工事の受注が寄与し、売上高7億29百万円(同25.2%増)、営業利益52百万円(同146.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産132億41百万円(前連結会計年度末比6億46百万円増)、負債の部は47億39百万円(同2億96百万円増)となり、純資産の部は、85億1百万円(同3億50百万円増)となりました。

資産の部の主な増加要因は、CV社連結による「のれん」の計上及び同社の売掛金を加算したこと、並びに当期中に受け入れ予定のベトナム技能実習生の社員寮の取得等により土地等有形固定資産が増加したことによるものです。

また負債の部の増加要因は、CV社連結による同社の負債額が加算されたことによるものであります。

そして純資産の部の主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による「利益剰余金」及び「その他有価証券評価差額金」が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年5月12日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,570,730	1,913,058
受取手形及び売掛金	2,338,992	2,601,325
有価証券	350,000	185,619
商品及び製品	7,798	11,311
原材料及び貯蔵品	44,854	43,667
未収還付法人税等	—	45,670
繰延税金資産	116,200	31,218
その他	52,860	95,993
貸倒引当金	△1,250	△1,277
流動資産合計	5,480,186	4,926,588
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	2,380,385	2,536,065
減価償却累計額	△1,490,867	△1,511,189
建物及び構築物(純額)	889,517	1,024,875
機械装置及び運搬具	1,291,542	1,315,186
減価償却累計額	△504,435	△590,928
機械装置及び運搬具(純額)	787,106	724,257
工具、器具及び備品	435,190	475,620
減価償却累計額	△317,802	△341,103
工具、器具及び備品(純額)	117,388	134,517
土地	1,279,950	1,365,989
リース資産	10,620	10,620
減価償却累計額	△8,496	△10,089
リース資産(純額)	2,124	531
有形固定資産合計	3,076,087	3,250,172
<b>無形固定資産</b>		
のれん	86,352	711,304
その他	92,292	94,923
無形固定資産合計	178,644	806,228
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,329,572	2,742,794
差入保証金	246,640	263,152
退職積立資産	889,130	897,043
保険積立資産	104,661	39,647
ゴルフ会員権	159,358	123,458
繰延税金資産	18,138	17,898
その他	140,073	178,785
貸倒引当金	△27,435	△4,555
投資その他の資産合計	3,860,141	4,258,225
固定資産合計	7,114,873	8,314,626
資産合計	12,595,060	13,241,215

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	680,318	676,929
短期借入金	100,000	240,000
1年内返済予定の長期借入金	139,536	168,096
リース債務	2,124	531
未払金	82,076	60,687
未払費用	167,278	319,289
未払給与	943,368	995,328
未払法人税等	190,543	45,267
未払消費税等	169,938	227,744
賞与引当金	234,365	51,375
その他	144,671	299,667
流動負債合計	2,854,220	3,084,918
固定負債		
長期借入金	965,472	1,015,600
長期未払金	30,120	24,472
預り保証金	29,795	29,880
退職給付に係る負債	167,132	128,642
役員退職慰労引当金	285,930	267,864
繰延税金負債	83,923	161,014
資産除去債務	27,271	27,504
固定負債合計	1,589,645	1,654,979
負債合計	4,443,865	4,739,897
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	822,300	822,300
資本剰余金	878,137	878,137
利益剰余金	6,433,595	6,540,791
自己株式	△314,545	△314,545
株主資本合計	7,819,487	7,926,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	344,483	540,541
為替換算調整勘定	△12,776	△11,956
その他の包括利益累計額合計	331,706	528,584
非支配株主持分	—	46,049
純資産合計	8,151,194	8,501,317
負債純資産合計	12,595,060	13,241,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	16,564,602	17,721,298
売上原価	14,442,741	15,482,871
売上総利益	2,121,861	2,238,427
販売費及び一般管理費		
役員報酬	139,212	122,067
給料	676,972	769,255
賞与引当金繰入額	105,882	108,899
役員退職慰労引当金繰入額	15,394	12,503
退職給付費用	18,950	19,159
賃借料	124,295	127,255
減価償却費	70,303	94,859
保険料	43,106	36,929
のれん償却額	7,244	49,720
その他	573,262	644,144
販売費及び一般管理費合計	1,774,625	1,984,793
営業利益	347,235	253,634
営業外収益		
受取利息	11,731	12,386
受取配当金	30,702	36,355
受取手数料	10,679	14,662
受取保険金及び配当金	2,905	3,208
保険返戻金	71,051	2,564
持分法による投資利益	5,632	5,197
その他	4,198	11,204
営業外収益合計	136,900	85,579
営業外費用		
支払利息	2,155	3,867
支払手数料	5,325	4,086
為替差損	—	10,903
障害者雇用納付金	3,750	1,060
保険解約損	4,628	—
その他	8	26,589
営業外費用合計	15,866	46,508
経常利益	468,270	292,705
特別利益		
固定資産売却益	1,290	20,835
投資有価証券売却益	5,087	3,944
投資有価証券償還益	—	35,820
ゴルフ会員権預託金返還益	—	22,880
その他	801	9,568
特別利益合計	7,180	93,049
特別損失		
固定資産除売却損	129	12,987
投資有価証券評価損	763	—
その他	10	2,477
特別損失合計	902	15,465
税金等調整前四半期純利益	474,547	370,290
法人税、住民税及び事業税	136,588	68,083
法人税等調整額	40,885	78,668
法人税等合計	177,473	146,752
四半期純利益	297,074	223,537
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	15,629
親会社株主に帰属する四半期純利益	297,074	207,907



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	297,074	223,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	144,081	196,057
為替換算調整勘定	12,578	851
その他の包括利益合計	156,660	196,909
四半期包括利益	453,734	420,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	453,734	404,785
非支配株主に係る四半期包括利益	—	15,660

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューアル 工事業務	不動産ソリュ ーション業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	8,691,150	3,426,733	2,138,958	1,725,018	582,741	—	16,564,602
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,691,150	3,426,733	2,138,958	1,725,018	582,741	—	16,564,602
セグメント利益	1,099,004	143,666	135,927	127,760	21,215	△1,180,338	347,235

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,180,338千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューアル 工事業務	不動産ソリュ ーション業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	9,936,304	3,485,788	2,236,116	1,333,439	729,650	—	17,721,298
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,936,304	3,485,788	2,236,116	1,333,439	729,650	—	17,721,298
セグメント利益	1,094,068	171,921	162,898	54,680	52,218	△1,282,152	253,634

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,282,152千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。